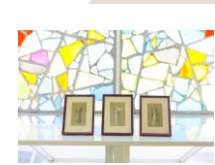


子どもの「育つ」を支える保育について考える



子どもが自分の未来に向かって歩み、自分らしさを発揮していくための原動力は何でしょうか。保育は、まさにその原動力を育む仕事です。子どもの「育つ」を支えるために乳幼児期に大切にしたいことに触れながら、様々なテーマについて参加者のみなさまと共に考えます。 ※本講座は、保育士等キャリアアップ研修に対応しています。

清泉女学院短期大学上野キャンパスCr館（新演習棟）

〒381-0085長野市上野2-120-8 026-295-5665（代表）

受講費 各1,000円（②テキスト代⑨材料費別途）

問い合わせ 清泉女学院大学・短期大学地域連携センター

TEL026-295-1325 Email: opencollege@seisen-jc.ac.jp



①～⑤の申し込み
はこちらから



⑥～⑨ 9月頃
HP掲載予定

特別講座Ⅰ 2024年7月29日（月） [受付2024年6月3日10:00～]

時間	タイトル	形式	講師	定員	保育士等キャリアアップ研修
14:30-16:30	①実習生が意欲的に取り組む保育実習	講義・討議	長谷川孝子	50	マネジメント
14:30-16:30	②八長調で弾くこどもの歌～保育に活かせる電子ピアノの裏ワザ～	講義・演習	山崎 浩	12	保育実践 (加算対象外)

※「八長調で弾くこどもの歌～保育に活かせる電子ピアノの裏ワザ～」受講者には、講師の新刊テキスト「やさしい保育ソング75（仮）」を会場でご購入いただけます。代金は、後日参加者に連絡します。

特別講座Ⅱ 2024年8月24日（土） [受付2024年6月3日10:00～]

時間	タイトル	形式	講師	定員	保育士等キャリアアップ研修
9:45-11:45	③発達に課題を抱える子ども理解とストレスアプローチ	講義・討議	小松 仁美	50	障害児保育
12:30-14:30	④子どもの一日の生活と保育	講義・討議	碓井 幸子	50	幼児教育
14:50-16:50	⑤子どもの「育ち」をつなぐ幼保小の 接続 - <10の姿>をいかすには -	講義・討議	西山 薫	50	幼児教育

特別講座Ⅲ 2024年11月2日（土） [受付2024年9月2日10:00～]

時間	タイトル	形式	講師	定員	保育士等キャリアアップ研修
9:45-11:45	⑥乳児の主体性と保育担当制	講義・演習	長谷川孝子	50	乳児保育
12:30-14:30	⑦学び直しの幼児教育 “新”と“真”	講義・演習	碓井 幸子	50	幼児教育
14:50-16:50	⑧働きやすい環境作りに活かすコミュニケーションスキル	講義・演習	渡邊 智之	50	マネジメント
14:50-16:50	⑨子どもの造形表現の理解と援助	講義・演習	樽井 美波	30	保育実践（加算対象外）

講座内容

7/29 長谷川	①実習生が意欲的に取り組む保育実習 保育士確保が喫緊の課題となるなか、保育者を目指す学生たちが将来に夢を描ける実習にするためにはどうすればよいのかを学生目線も含めて考える。	7/29 山崎	②八長調で弾くこどもの歌 電子ピアノの移機能を活かし、弾きやすい八長調楽譜を使って子どもの歌を学び直す。またコードネームの基礎、キーの選び方にも触れる「ピアノが苦手」な先生向けの講座。
8/24 小松	③発達に課題を抱える子ども理解 発達に課題を抱える子どもがその子らしさを発揮しながら集団生活を円滑に進めていくための、保育現場での観察や対応のポイントを押さえながら、その子の「強み」を活かす保育実践を考える。	8/24 碓井	④子どもの一日の生活と保育 3歳以上児の午睡を行わない園が増えてきている。そこで、午睡の意義や課題を中心として、子どもの充実した園生活、保育時間の違いによる保育の工夫等意見交換を交えながら考える。
8/24 西山	⑤子どもの育ちをつなぐ幼保小の接続 幼保小の接続を具体的にどう展開するかについて、「架け橋プログラム」等の近年の動向や、長野県で取り組まれている実践例などを踏まえ、接続の現状と課題、今後の可能性を考える。	11/2 長谷川	⑥乳児の主体性と保育担当制 愛着形成と乳児の主体性を育むために保育担当制が推奨されている。本講座では、保育担当制のメリット・デメリットについて演習を交えながら考える。
11/2 碓井	⑦学び直しの幼児教育 “新”と“真” 今もこれからも、子ども主体の保育と「主体的・対話的で深い学び」の保育方法が求められる。そこで、保育内容「領域」を中心に、今日求められる保育及び方法について解説する。	11/2 渡邊	⑧働きやすい環境作り 保育はコミュニケーションを介して行う仕事だが、保育者間のコミュニケーション不足に陥りやすいのも現実である。そこで、現場のリーダーに求められるコミュニケーションスキルについて考える
11/2 樽井	⑨子どもの造形表現の理解と援助 子どもの造形表現活動の意義について理解を深める。実際に素材にふれながら子どもの創造性を育む造形表現活動の内容や指導方法、援助の在り方について考える。材料費500円程必要		



①～⑤の申し込み
みはこちらから



⑥～⑨ 9月頃
HP掲載予定